

総務教育常任委員会資料

(平成26年1月21日)

【 件 名 】

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | 鳥取県教育委員会委員長の選出について（教育総務課） | 1 |
| 2 | 平成25年度第4回鳥取県学力向上戦略本部会議の概要について（教育総務課） | 2 |
| 3 | 一定額以上の工事の請負又は製造の請負契約の報告について
（教育環境課、家庭・地域教育課） | 3 |
| 4 | 「船上山少年自然の家」「大山青年の家」運営委員会の開催結果について
（家庭・地域教育課） | 4 |
| 5 | 第68回国民体育大会における鳥取県選手団の成績について
（スポーツ健康教育課） | 6 |
| 6 | 第69回国民体育大会冬季大会について（スポーツ健康教育課） | 15 |
| 7 | 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
（スポーツ健康教育課） | 23 |
| 8 | 子どものスポーツ活動ガイドライン（案）のパブリックコメントに係る意見募集
結果について（スポーツ健康教育課） | 29 |

教 育 委 員 会

鳥取県教育委員会委員長の選出について

平成26年1月21日

教育総務課

- ・平成26年1月17日開催の定例教育委員会で委員長の選出について協議し、委員の互選により下記のとおり中島委員長の再任が決定しました。
- ・併せて、委員長職務代行者についても、委員会で指定しました。

記

■委員長 なかしままこと 中島諒人 47歳 (S41. 2. 25生)



○委員長の任期：平成26年 1月17日～平成27年 1月16日 (2期目) <今回決定>
平成25年 1月15日～平成26年 1月14日 (1期目)

【参考】委員の任期：平成20年10月26日～平成28年10月25日 (現在2期目)

○主な略歴

演出家。「鳥の劇場」主宰。大学在学中から演劇活動を開始し、卒業後東京を拠点に劇団を主宰。利賀演出家コンクール2003最優秀演出家賞受賞。平成22年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

■委員長職務代行者 まつもとみえこ 松本美恵子 62歳 (S26. 7. 10生)



○委員長職務代行者の任期：平成26年 1月17日～

<今回決定分>

【参考】委員の任期：平成24年12月25日～平成28年12月24日 (現在1期目)

平成25年度第4回鳥取県学力向上戦略本部会議の概要について

平成26年1月21日
教育総務課

県・市町村・学校・家庭・地域が連携し、21世紀に生きる人材に求められる学力の向上を図るため、鳥取県学力向上戦略本部を設置し、第4回目の本部会議を開催しました。

1 日時 平成25年12月24日(火) 午後3時から4時30分

2 場所 県庁議会棟特別会議室

3 本部委員

学識経験者(大学)2名 市町村教育委員会教育長3名 保護者代表2名

地域代表1名 学校長(小・中・高・特)4名 県統轄監 県教育長 以上14名

4 これまでの流れ

- 「人間的豊かさを求める一步進んだ学力向上策」という方向性と「①豊かに生きる・共に生きる力 ②学びの質・学習意欲 ③学力調査」を観点とした指標を決定した。
- 小中学力部会を4回、中高学力部会を3回開催し、今後の学力向上の方向性として、「連携の強化、授業改革のステップアップ、教員の指導力向上、ICTの活用、夢やふるさと意識の醸成」が示された。

5 協議「来年度の学力向上事業とその運用について」

事務局より来年度の学力向上関連事業案を示し、以下の御意見をいただいた。

【協働システムを構築する必要性】

- 学校が主体的に取り組めることが肝心。学校はそれぞれの実情に応じてよく努力している。単に事業を実施するだけではなく、学校の努力と本部での議論をすり合わせることにについて、継続的に丁寧に戦略的に取り組んでいく必要がある。
- 今後の我々の取り組みは、学校・市町村教育委員会・県教育委員会のシステムの構築である。この構築には互いの十分な理解と学校におとしこむ具体的な取り組みが必要である。そのためのプロセスをもう少し練り上げていく必要がある。

【特別支援教育の視点、確実なPDCAサイクル実施、学校主体による事業の充実】

- ほとんどの小中学校に設置されている特別支援学級と学力の関連において、学習の方法・内容・視点でのとらえ方は全校種とも変わらない。是非ともこの視点を取り入れて、授業改革のステップアップへつなげたい。
- 各事業において責任主体を明確にしスケジュールを管理することで、確実なPDCAサイクルが実現する。
- 授業改善の基本は「落ち着いたのびのびと学べる環境づくり(学びの集団・人間関係づくり)」である。そのためには、学校が主体となるような組織作りを行政が手伝い、各学校ごとに課題・取り組みが異なることを行政が理解することである。このおおらかさを行政が持たなければ、小手先のつまらない学力向上策になってしまう。

【英語教育に対する戦略的な取り組みの必要性】

- 平成30年度「英語」が小学校で教科となるなど、英語教育について大きな動きを感じている。鳥取県としては国の英語教育改革実施計画を待つのではなく、全国的先駆けとなるような戦略的な英語教育を推し進める必要がある。

【ICT活用推進における方向性の確認】

- 手法が先立つのではなく、流行に左右されずに、細心の注意を払いながら推進していく必要がある。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成26年1月21日
 課 境 域 教 育 課
 課 地 域 教 育 課

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
【変更分】 県立倉吉西高等学校管理特別 教室棟耐震改修工事（建築）	倉吉市秋喜	有限会社向井組	契約金額 150,675,000円を 153,690,600円 (3,015,600円 増額)に改める。	平成25年 3月22日～ 平成26年 1月15日 (変更なし)	平成25年12月12日 (第1回変更)	(変更理由) 外壁改修の追加等を行っ たため。
県立生涯学習センター本館棟 1耐震改修工事（建築）	鳥取市扇町	株式会社懸樋工務店	契約金額 141,435,000円を 151,201,050円 (9,766,050円 増額)に改める。	平成25年 3月28日～ 平成25年12月20日 (変更なし)	平成25年12月 4日 (第1回変更)	(変更理由) 厨房改修の追加等を行っ たため。

「船上山少年自然の家」「大山青年の家」運営委員会の開催結果について

平成26年1月21日
家庭・地域教育課

「船上山少年自然の家」及び「大山青年の家」については、平成24年度に実施された事業棚卸しで「[改善継続] 指定管理制度の導入を含めて、運営のあり方を抜本的に検討すべき」と評価を受けました。

そこで、平成25年5月に、学識経験者、民間、学校、市町村等の代表からなる「運営委員会」を設置して施設の運営や事業内容について検討しましたので報告します。

1 これまでの経緯

○施設開所時（船上山：昭和52年7月、大山：昭和54年1月）から平成17年度まで業務の一部（施設の維持管理、使用料の徴収等）を（財）鳥取県教育文化財団に委託していた。

○平成18年度以降

指定管理者制度の導入に伴い、今後の運営のあり方を検討した結果、市町村、地域等との連携を深め、青少年の健全育成に係る施策のより一層の充実を図るため、施設の管理・運営に県がより主体的に関与し、「県直営」とすることとした。

2 事業棚卸しの評価結果 [改善継続]

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設なのか、生涯教育施設なのかを明確にした上で、<u>指定管理制度の導入を含めて、運営のあり方を抜本的に検討すべきである。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>可能なものは個別メニュー事業ごとに委託すべきであるし、料金についても県内外利用者別などの設定を検討すべきである。</u>
--	--

【参考】指定管理者制度の導入状況（平成25年4月現在）

・道府県立青少年教育施設 152施設のうち98施設で導入、54施設は直営

3 運営委員会の意見（施設ごとに運営委員会を設置し、会議を各3回開催）

運営のあり方	事業内容・料金
<ul style="list-style-type: none"> ・教員が関わることにより、学校不適應や問題を抱えている子どもにも対応できる。 ・施設に教員を配置していることにより、教員のスキルアップが図られることは、直営のメリットである。 ・指定管理者制度を導入すると、指定管理期間が限定（5年程度）されているので、有能な職員が集まらない。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校教育と密接に連携し、集団生活を通して、野外活動、自然探求、観察活動等を行うことにより、心身ともに豊かでたくましい青少年を育成する青少年社会教育施設として、<u>県直営体制を継続する。</u> ○<u>運営委員会を常設化し、運営上の諸課題について継続的に検討する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・直営でやらなければならないもの、地域と連携してやっていくものなど、事業ごとに考えるべきである。 ・県内利用者に影響が出ていなければ、利用料金を県内者と県外者で分ける必要はない。 ・「青年」区分の利用者が少ないのであれば、区分を廃止してもいい。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>可能なものは外部委託を実施するとともに、共催事業の実施も検討する。</u> ○<u>県内外利用者別の料金設定は行わない。</u> ○<u>青年区分は一般区分に統合する。</u>
<p>「学校教育と密接に連携した青少年社会教育施設として、 運営委員会等の意見を聞きながら、県直営で運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育との連携を強化 ②企業、各種団体、NPO、市町村等との連携の強化 ③運営委員会の常設化 	

4 運営委員会の開催状況

船上山少年自然の家運営委員会		大山青年の家運営委員会	
1 開催状況	(第1回:5/29) 施設の概要説明と論点整理 (第2回:7/24) 論点に基づいて、施設のあり方を議論 (第3回:9/27) 委員会としての意見とりまとめ	1 開催状況	(第1回:5/31) 施設の概要説明と論点整理 (第2回:7/19) 論点に基づいて、施設のあり方を議論 (第3回:10/2) 委員会としての意見とりまとめ
2 委員名簿		2 委員名簿	
(委員長) 川口 有美子	鳥取環境大学環境学部環境学科講師	(委員長) 藤田 耕一	島根大学教育学部附属教育支援センター准教授
高橋 義博	倉吉市子ども会育成連絡協議会長	西林 いずみ	県子ども会育成連絡協議会理事(米子市)
重信 眞也	三朝南小学校長(東伯郡小学校長会)	森谷 哲郎	南部町立会見小学校長(西伯郡小学校長会)
小谷 次雄	県公民館連合会長	前田 義機	青少年育成鳥取県会議委員 (青少年育成推進指導員(大山町))
上田 啓悟	赤碕ダイハツ株式会社 専務	伊澤 大介	有限会社森の国 社長
川部 洋	NPO法人明倫NEXT100 理事長	秦野 博行	一般社団法人米子青年会議所 まちづくり青少年委員会委員長
桑本 圭二	一般財団法人倉吉市教育振興事業団 理事長	杉原 弘一郎	一般財団法人米子市文化財団 理事長
小林 克美	琴浦町教育委員会教育長	山根 浩	大山町教育委員会教育長

第68回国民体育大会における鳥取県選手団の成績について

平成26年1月21日
スポーツ健康教育課

1 スポーツ祭東京2013成績

		第67回(岐阜)	第68回(東京)	前年差
競技得点合計		260.5	220.0	-40.5
天皇杯順位		44位	45位	-1位
皇后杯順位		36位	44位	-8位
得点内訳	少年	177.5	151.5	-26.0
	成年	83	68.5	-14.5
入賞状況	競技数	17競技	12競技	-5
	種目数	45種目	38種目	-7
	延べ人数	76人	74人	-2
	実人数	68人	65人	-3

※ 参加点を除く(67回、68回とも参加点は400点)

2 国民体育大会競技得点の推移(鳥取県)

競 技 名	種 別	国体における総合成績(競技得点)										
		58静岡	59埼玉	60岡山	61兵庫	62秋田	63大分	64新潟	65千葉	66山口	67岐阜	68東京
		得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点
競 技 得 点 合 計		287.5	290.5	376.0	275.0	331.5	226.0	198.5	229.5	228.0	260.5	220.0
天 皇 杯 順 位		42	42	39	45	43	46	47	46	44	44	45
皇 后 杯 順 位		34	34	40	45	39	38	40	42	41	36	44
得 点 比 率	少 年	142.5	154.5	182.5	88.0	129.0	112.0	78.0	128.5	142.0	177.5	151.5
	成 年	145.0	136.0	193.5	187.0	202.5	114.0	120.5	101.0	86.0	83.0	68.5
	少 年 比 率	49.6	53.2	48.5	32.0	38.9	49.6	39.3	56.0	62.3	68.1	68.9

- 成年、少年合わせ5種目で優勝を果たし、昨年と同数であった。
- 入賞者はのべ74名であり、人数としては昨年の成績にほぼ近いものであったが、種目数は45種目から38種目と昨年を大きく下回り、その結果が総合順位に影響した。
- 今年も昨年に引き続き少年勢の活躍が目立った。
 - ・水泳競技高飛込み…宇田選手が2連覇
 - ・ボート競技:古田選手優勝、弓道競技:倉吉西高等学校優勝、相撲競技:鳥取城北高等学校優勝 など
- 成年においては、18種目で入賞を果たし、20種目の少年とほぼ同数であるが、第62回の秋田大会の28種目から10種目、得点にして130点以上の減少をしており、課題を残している。
- 中国ブロックを突破した種目が減少し、昨年得点を挙げた競技が本大会に出場できなかった(約35点)ことが、総得点にかなり影響している。多くの競技でブロック突破できるよう一層の強化を図ることが必要である。



スポーツ祭東京2013

第68回国民体育大会 天皇杯・皇后杯 総合得点一覧表

確定

大会委員長

(Handwritten signature)

《 都道府県順 》

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
北海道	9	1330.5	北海道	10	670
青森	34	840	青森	36	434
岩手	23	943	岩手	27	483
宮城	21	955	宮城	24	493.5
秋田	39	774.5	秋田	42	371.5
山形	19	974.5	山形	23	508.5
福島	35	816.5	福島	34	445
茨城	29	886.5	茨城	37	421.5
栃木	13	1037.25	栃木	14	584.5
群馬	14	1036.5	群馬	11	602
埼玉	3	1813.5	埼玉	4	835.5
千葉	7	1524.5	千葉	5	834.5
東京	1	3486	東京	1	1622
神奈川	6	1617.83	神奈川	7	725.5
山梨	31	856.5	山梨	17	526
新潟	25	935.5	新潟	18	525.5
長野	17	1002.5	長野	16	529.5
富山	33	842.5	富山	31	458
石川	28	903	石川	35	442.5
福井	24	938	福井	22	511
静岡	20	968.75	静岡	21	516.5
愛知	4	1811	愛知	6	822
三重	41	745	三重	39	383.5
岐阜	5	1681	岐阜	3	840
滋賀	40	763.83	滋賀	28	477
京都	11	1197	京都	19	519.5
大阪	2	1839.5	大阪	2	883.5
兵庫	12	1183	兵庫	9	682.5
奈良	37	787	奈良	43	365.5
和歌山	18	990.5	和歌山	26	490
鳥取	45	620	鳥取	44	360.5
島根	46	575.83	島根	47	332
岡山	16	1023.25	岡山	33	447.5
広島	15	1036	広島	12	599
山口	32	848.5	山口	25	490.5
香川	30	880	香川	32	452
徳島	47	536.5	徳島	46	341.5
愛媛	26	932.75	愛媛	15	571
高知	42	721.5	高知	40	382
福岡	8	1410	福岡	8	721
佐賀	44	651	佐賀	38	397
長崎	10	1219.5	長崎	13	594
熊本	27	923.5	熊本	20	517.5
大分	22	944	大分	29	469.5
宮崎	38	778	宮崎	41	377.5
鹿児島	36	815.5	鹿児島	30	462
沖縄	43	719.5	沖縄	45	347
計		50115.99	計		25865

《 成績順 》

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
東京	1	3486	東京	1	1622
大阪	2	1839.5	大阪	2	883.5
埼玉	3	1813.5	岐阜	3	840
愛知	4	1811	埼玉	4	835.5
岐阜	5	1681	千葉	5	834.5
神奈川	6	1617.83	愛知	6	822
千葉	7	1524.5	神奈川	7	725.5
福岡	8	1410	福岡	8	721
北海道	9	1330.5	兵庫	9	682.5
長崎	10	1219.5	北海道	10	670
京都	11	1197	群馬	11	602
兵庫	12	1183	広島	12	599
栃木	13	1037.25	長崎	13	594
群馬	14	1036.5	栃木	14	584.5
広島	15	1036	愛媛	15	571
岡山	16	1023.25	長野	16	529.5
長野	17	1002.5	山梨	17	526
和歌山	18	990.5	新潟	18	525.5
山形	19	974.5	京都	19	519.5
静岡	20	968.75	熊本	20	517.5
宮城	21	955	静岡	21	516.5
大分	22	944	福井	22	511
岩手	23	943	山形	23	508.5
福井	24	938	宮城	24	493.5
新潟	25	935.5	山口	25	490.5
愛媛	26	932.75	和歌山	26	490
熊本	27	923.5	岩手	27	483
石川	28	903	滋賀	28	477
茨城	29	886.5	大分	29	469.5
香川	30	880	鹿児島	30	462
山梨	31	856.5	富山	31	458
山口	32	848.5	香川	32	452
富山	33	842.5	岡山	33	447.5
青森	34	840	福島	34	445
福島	35	816.5	石川	35	442.5
鹿児島	36	815.5	青森	36	434
奈良	37	787	茨城	37	421.5
宮崎	38	778	佐賀	38	397
秋田	39	774.5	三重	39	383.5
滋賀	40	763.83	高知	40	382
三重	41	745	宮崎	41	377.5
高知	42	721.5	秋田	42	371.5
沖縄	43	719.5	奈良	43	365.5
佐賀	44	651	鳥取	44	360.5
鳥取	45	620	沖縄	45	347
島根	46	575.83	徳島	46	341.5
徳島	47	536.5	島根	47	332
計		50115.99	計		25865

2013/10/8 11:20

第68回国民体育大会 鳥取県成績概要

男女総合成績 (天皇杯) 45位 得点 220.0点
 女子総合成績 (皇后杯) 44位 得点 60.5点

季別	No.	競 技 名	天皇杯得点及び順位			皇后杯得点及び順位			
			参加得点	競技得点	合計得点	参加得点	競技得点	合計得点	
冬 季	1	スケート	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
		スピード フィギュア		0 (0)			0 (0)		
	2	アイスホッケー	10	0 (0)	10	—	—	—	
	3	スキー	アルペン	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10
			クロス		0 (1)			0 (0)	
ジャンプ			0 (0)		0 (0)				
	冬 季 小 計	30 (30)	0 (1)	30 (31)	20 (20)	0 (0)	20 (20)		
	順 位		34位 (32位)			26位 (25位)			
本 大 会	1	陸 上 競 技	10	26 (34)	36	10	6 (12)	16	
	2	水 泳	10	競 泳	48	10	1 (4)	20	
				飛 込			10 (17)		
				水 球			25 (0)		
				シンクロ			0 (0)		
	3	サ ッ カ ー	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	4	テ ニ ス	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	5	ボ ー ト	10	21.5 (33)	31.5	10	15 (30)	25	
	6	ホ ッ ケ ー	10	0 (20)	10	10	0 (20)	10	
	7	ボ ク シ ン グ	10	0 (0)	10	—	—	—	
	8	バ レ ー ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	9	体 操	競 技	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10
			新 体 操		0 (0)				
	10	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	11	レ ス リ ン グ	10	7.5 (13)	17.5	—	—	—	
	12	セ ー リ ン グ	10	4 (24)	14	10	3 (24)	13	
	13	ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ	10	6 (13)	16	—	—	—	
	14	ハ ン ド ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	15	自 転 車 競 技	10	4 (9)	14	—	—	—	
	16	ソ フ ト テ ニ ス	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	17	卓 球	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	18	軟 式 野 球	10	0 (0)	10	—	—	—	
	19	相 撲	10	47.5 (20)	57.5	—	—	—	
	20	馬 術	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	21	フ ェ ン シ ン グ	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	22	柔 道	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	23	ソ フ ト ボ ー ル	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	24	バ ド ミ ン ト ン	10	0 (7.5)	10	10	0 (7.5)	10.0	
	25	弓 道	10	33 (18)	43	10	3 (18)	13	
	26	ラ イ フ ル 射 撃	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	27	剣 道	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	28	ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル	10	0 (0)	10	—	—	—	
	29	山 岳	10	9 (24)	19	10	0 (0)	10	
	30	カ ヌ ー	10	23.5 (7)	33.5	10	23.5 (4)	34	
	31	ア ー チェ リ ー	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	32	空 手 道	10	0 (8)	10	10	0 (8)	10	
	33	銃 剣 道	10	0 (0)	10	—	—	—	
34	ク レ ー 射 撃	10	0 (0)	10	—	—	—		
35	な ぎ な た	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
36	ボ ウ リ ン グ	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
37	ゴ ル フ	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
	小 計	370 (370)	220.0 (259.5)	590.0 (629.5)	280 (280)	60.5 (136.5)	340.5 (416.5)		
			44位 (42位)			44位 (34位)			
総 計		400 (400)	220.0 (260.5)	620.0 (660.5)	300 (300)	60.5 (136.5)	360.5 (436.5)		
			45位 (44位)			44位 (36位)			

() は 昨 年 の 成 績 を 示 す。

第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」入賞者一覧

- 1 会期 平成25年9月28日(土)～10月8日(火)
 ※会期前開催 9月11日(水)～9月15日(日)
- 2 会場 東京都内一円(一部埼玉、千葉県)
- 3 競技数 40競技(鳥取県は30競技出場) ※公開競技を含む

競技名	種別	種目	順位	得点	個人(団体名(所属))	人数	
陸上	成年男子	110mH	5	4	西澤 真徳(県教育委員会)	1	
		走幅跳	3	6	松浦 憲吾(美作大学)	1	
		ハンマー投	5	4	赤穂 弘樹(県教育委員会)	1	
	少年男子A	やり投	3	6	小椋 健司(倉吉総合産業高校3年)	1	
	少年女子共通	棒高跳	7	1	齊木杏祐華(倉吉総合産業高校2年)	1	
		やり投	4	5	田中 晴菜(倉吉総合産業高校3年)	1	
	小計				26		6
水泳	競泳	少年男子A	200m平泳ぎ	7	2	武良 竜也(米子北高校2年)	1
		少年女子B	100m平泳ぎ	8	1	落部緋菜子(東山中学校3年)	1
	飛込	成年男子	高飛込	8	1	前谷 健佑(天理大学)	1
		少年女子	高飛込	1	8	宇田恵理子(米子西高校2年)	1
			飛板飛込	8	1	柏原 沙羅(加茂中学校3年)	1
	水球	少年男子	団体	4	25	加来龍之介(3) 三原 大地(3) 三浦 比呂(3) 栗元 成生(3) 片山 遼(3) 長谷川和紀(3) 山本 航大(2) 古木 雅也(2) 西宇 涼(2) 塩地 雄介(2) 三浦 生馬(2) 南 唯人(3) 黒田 亮(3) 吉村 瞭(2) 西原 圭佑(2) (鳥取中央育英高校)	15
		小計				38	
ボート	成年女子	シングルスカル	1	6.5	富田 千愛(明治大学)	1	
		ダブルスカル	8	3	松本 愛理(立教大学) 相見 晴奈(龍谷大学)	2	
	少年男子	シングルスカル	1	6.5	古田 直輝(米子工業高校2年)	1	
	少年女子	シングルスカル	5	2.5	林原 悠(米子東高校2年)	1	
		ダブルスカル	8	3	岡野 麻由(3) 氏 奏咲(3)(米子南高校)	2	
	小計				21.5		7
レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル84kg級	5	2.5	前田 祐也(拓殖大学)	1	
		フリースタイル120kg級	5	2.5	安田 翔(国士館大学)	1	
	少年男子	グレコローマンスタイル55kg級	5	2.5	前田 昌義(倉吉総合産業高校3年)	1	
	小計				7.5		3
セーリング	成年男子	団体シングルハンダー級	8	1	八木谷 允(NECシステムテクノロジー(株))	1	
	成年女子	セーリングスピリッツ級	8	3	平岡 沙希(日本経済大学) 西尾 知美(米子工業高等専門学校)	2	
	小計				4		3
ウエイトリフティング	少年男子	53kg級(スナッチ)	3	6	錦織 亮(米子工業高校2年)	1	
	小計				6		1

競技名	種別	種目	順位	競技 得点	個人 団体名(所属)	人数	
自転車	成年男子	1kmタイムトライアル	5	4	佐伯 亮輔 (中央大学)	1	
	小計			4		1	
相撲	成年男子	団体	5	7.5	木崎 信志 (日本大学) 佐々木耕大(日本大学) 伊藤 優(県体育協会)イチンノロブ(県体育協 会) ガントックス(鳥取城北高校)	5	
		個人	5	-	佐々木耕大(日本大学)	1	
	少年男子	団体	1	40	水田 健斗(3) 谷本 将也(3) 木崎伸之助(3) 中島 望(3) 清家 隆志(2) 堤 勇磨(2) 廣尾 達成(2) (鳥取城北高校)	7	
		個人	3	-	水田 健斗 (鳥取城北高校3年)	1	
	小計			47.5		14	
弓道	少年男子	近的	1	24	藤井 貴宏(3) 今井 徹(3) 加藤 陸(3) (倉吉西高校)	3	
		遠的	7	6	藤井 貴宏(3) 今井 徹(3) 加藤 陸(3) (倉吉西高校)	3	
	少年少女	近的	8	3	浅井 初音(3) 寺地 梨香(3) 山本 璃奈(2) (倉吉西高校)	3	
	小計			33		9	
山岳	少年男子	リード(団)	7	6	高力 秀幸(3) 安本 海斗(1)(鳥取中央育英高校)	2	
		ボルダリング(団)	8	3	高力 秀幸(3) 安本 海斗(1)(鳥取中央育英高校)	2	
	小計			9		4	
カヌー	成年女子	ワイルド ウオーター	1500m	4	4.5	福本かな子 (米子白鳳高校)	1
			スプリント	2	7	福本かな子 (米子白鳳高校)	1
	成年女子	スラローム K-1	25G	3	6	遠藤絵里子 (県教育委員会)	1
			15G	3	6	遠藤絵里子 (県教育委員会)	1
	小計			23.5		4	
ビーチバレー	成年男子	団体	3	-	松本 大翼(松本雅人事務所) 庄司 憲右	2	
	小計			0		2	
合計				220		74	

【入賞者数】 12競技38種目74人 (昨年は16競技44種目75人)

1位 3人、2団体 (4人、1団体)

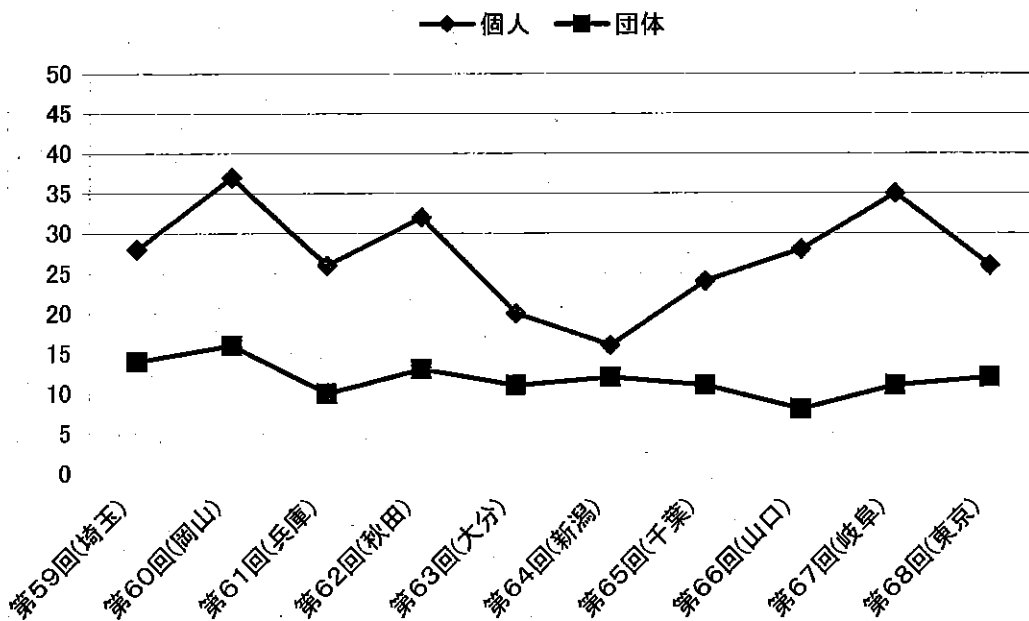
2位 1人、0団体 (2人、1団体)

3位 6人、1団体 (4人、2団体)

国民体育大会入賞種目について(過去10年分)

順位	回数	第59回 (埼玉)	第60回 (岡山)	第61回 (兵庫)	第62回 (秋田)	第63回 (大分)	第64回 (新潟)	第65回 (千葉)	第66回 (山口)	第67回 (岐阜)	第68回 (東京)
	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数
個人	1位	2	5	0	4	0	3	1	5	4	3
	2位	2	1	4	4	2	1	3	2	2	1
	3位	5	5	5	2	4	1	2	3	4	6
	4~8位	19	26	17	22	14	11	18	18	25	16
	計	28	37	26	32	20	16	24	28	35	26
団体	1位	1	3	2	3	2	1	0	1	1	2
	2位	1	2	1	2	0	1	0	1	1	0
	3位	3	1	1	1	0	1	1	0	2	1
	4~8位	9	10	6	7	9	9	10	6	7	9
	計	14	16	10	13	11	12	11	8	11	12
合計	1位	3	8	2	7	2	4	1	6	5	5
	2位	3	3	5	6	2	2	3	3	3	1
	3位	8	6	6	3	4	2	3	3	6	7
	4~8位	28	36	23	29	23	20	28	24	32	25
	計	42	53	36	45	31	28	35	36	46	38
天皇杯順位	42位	39位	45位	43位	46位	47位	46位	44位	44位	45位	
皇后杯順位	34位	40位	45位	39位	38位	40位	42位	41位	36位	44位	
個人比	66.7	69.8	72.2	71.1	64.5	57.1	68.6	77.8	76.1	68.4	
団体比	33.3	30.2	27.8	28.9	35.5	42.9	31.4	22.2	23.9	31.6	

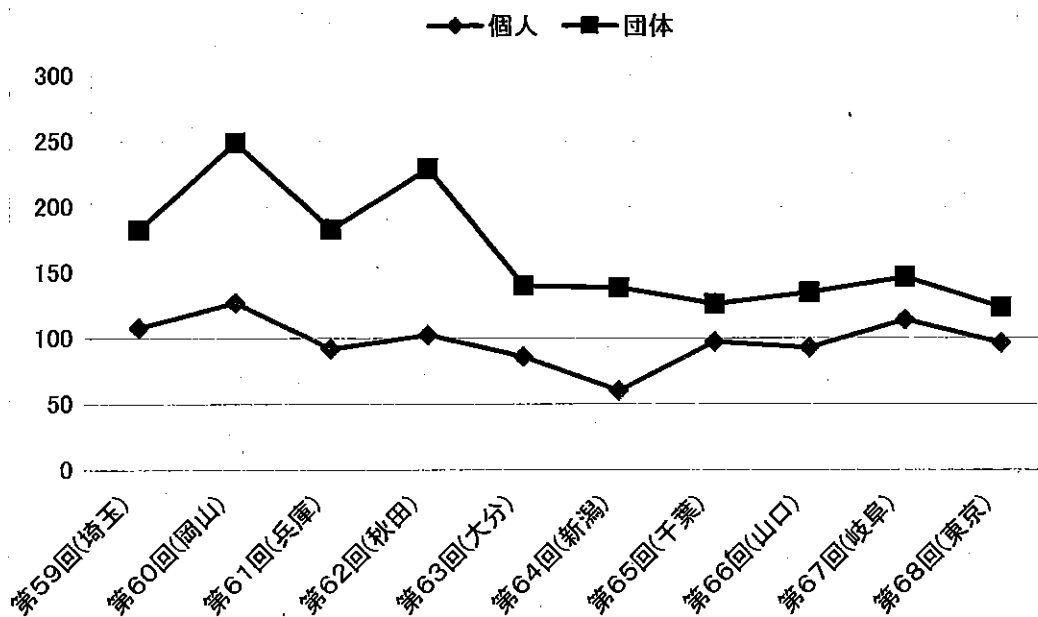
入賞種目数



国民体育大会獲得得点について(過去10年分)

順位	回数	第59回	第60回	第61回	第62回	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回
		(埼玉)	(岡山)	(兵庫)	(秋田)	(大分)	(新潟)	(千葉)	(山口)	(岐阜)	(東京)
		得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点
個人	1位	16	40	0	16	0	24	8	16	32	21
	2位	14	0	28	28	14	7	21	7	7	7
	3位	29.5	28.5	29.5	12	23.5	6	12	18	17.5	30
	4~8位	48.5	58.5	34.5	46.5	48.5	23	56.5	52	57.5	38.5
	計	108	127	92	102.5	86	60	97.5	93	114	96.5
団体	1位	24	88	48	112	48	24	0	40	24	64
	2位	21	56	21	21	0	21	0	35	21	0
	3位	54	18	30	18	0	18	30	0	36	0
	4~8位	83.5	87	84	78	92	75.5	96	60	65.5	59.5
	計	182.5	249	183	229	140	138.5	126	135	146.5	123.5
合計	1位	40	128	48	128	48	48	8	56	56	85
	2位	35	56	49	49	14	28	21	42	28	7
	3位	83.5	46.5	59.5	30	23.5	24	42	18	53.5	30
	4~8位	132	145.5	118.5	124.5	140.5	98.5	152.5	112	123	98
	計	290.5	376	275	331.5	226	198.5	223.5	228	260.5	220
天皇杯順位		42位	39位	45位	43位	46位	47位	46位	44位	44位	45位
皇后杯順位		34位	40位	45位	39位	38位	40位	42位	41位	36位	44位
個人比		37.2	33.8	33.5	30.9	38.1	30.2	43.6	40.8	43.8	43.9
団体比		62.8	66.2	66.5	69.1	61.9	69.8	56.4	59.2	56.2	56.1

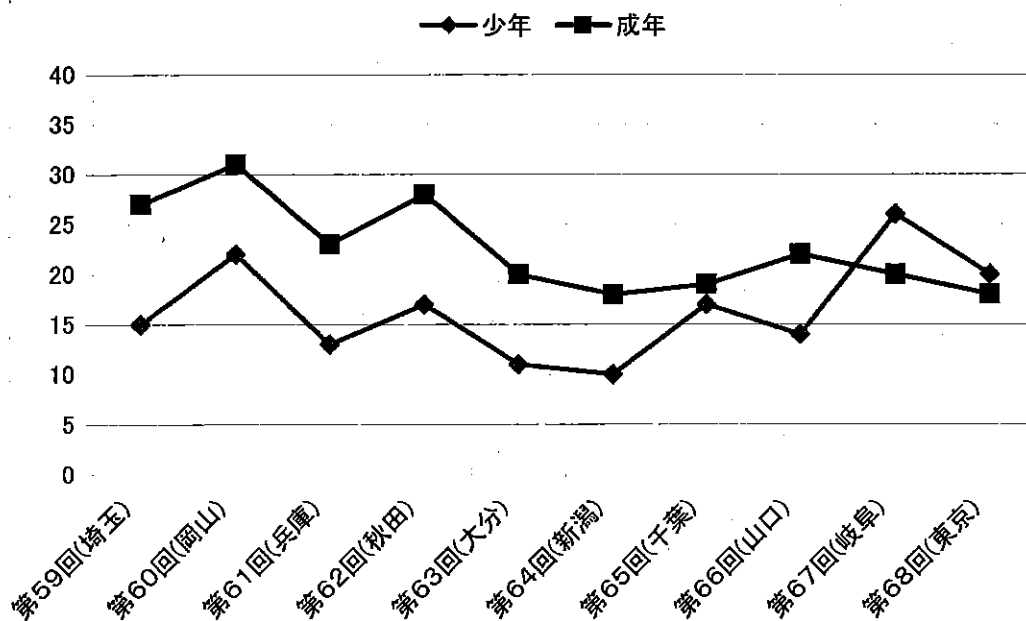
獲得得点



国民体育大会入賞種目について(過去10年分)

順位	回数	第59回	第60回	第61回	第62回	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回
		(埼玉)	(岡山)	(兵庫)	(秋田)	(大分)	(新潟)	(千葉)	(山口)	(岐阜)	(東京)
		種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数	種目数
少年	1位	1	3	0	2	1	1	0	3	4	4
	2位	1	2	1	1	1	1	2	3	2	0
	3位	5	4	1	2	1	0	3	0	2	3
	4~8位	8	13	11	12	8	8	12	8	18	13
	計	15	22	13	17	11	10	17	14	26	20
成年	1位	2	5	2	5	1	3	1	3	1	1
	2位	2	1	4	5	1	1	1	0	1	1
	3位	3	2	5	1	3	2	1	3	4	4
	4~8位	20	23	12	17	15	12	16	16	14	12
	計	27	31	23	28	20	18	19	22	20	18
合計	1位	3	8	2	7	2	4	1	6	5	5
	2位	3	3	5	6	2	2	3	3	3	1
	3位	8	6	6	3	4	2	4	3	6	7
	4~8位	28	36	23	29	23	20	28	24	32	25
	計	42	53	36	45	31	28	36	36	46	38
天皇杯順位		42位	39位	45位	43位	46位	47位	46位	44位	44位	45位
皇后杯順位		34位	40位	45位	39位	38位	40位	42位	41位	36位	44位
少年比		35.7	41.5	36.1	37.8	35.5	35.7	47.2	38.9	56.5	52.6
成年比		64.3	58.5	63.9	62.2	64.5	64.3	52.8	61.1	43.5	47.4

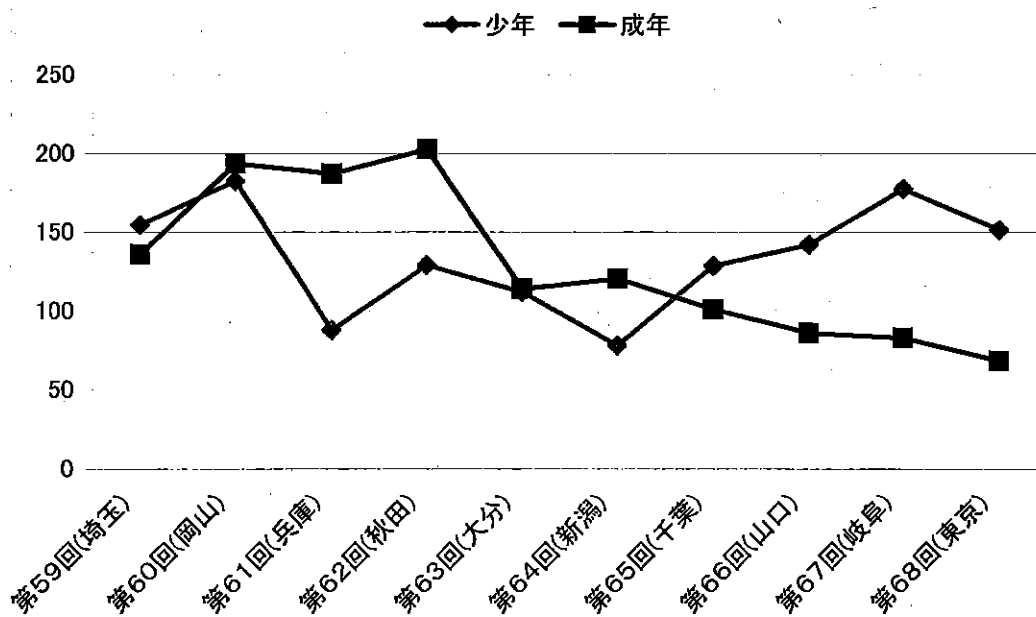
入賞種目数



国民体育大会獲得得点について(過去10年分)

回数	回数										
	第59回 (埼玉)	第60回 (岡山)	第61回 (兵庫)	第62回 (秋田)	第63回 (大分)	第64回 (新潟)	第65回 (千葉)	第66回 (山口)	第67回 (岐阜)	第68回 (東京)	
順位	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	得点	
少年	1位	24	72	0	24	24	8	0	48	48	78.5
	2位	21	35	21	21	7	7	14	42	7	0
	3位	53.5	35	30	24	5.5	0	42	0	36	12
	4~8位	56	40.5	37	60	75.5	63	72.5	52	86.5	61
	計	154.5	182.5	88	129	112	78	128.5	142	177.5	151.5
成年	1位	16	56	48	104	24	40	8	8	8	6.5
	2位	14	21	28	28	7	21	7	0	21	7
	3位	30	11.5	29.5	6	18	24	6	18	17.5	18
	4~8位	76	105	81.5	64.5	65	35.5	80	60	36.5	37
	計	136	193.5	187	202.5	114	120.5	101	86	83	68.5
合計	1位	40	128	48	128	48	48	8	56	56	85
	2位	35	56	49	49	14	28	21	42	28	7
	3位	83.5	46.5	59.5	30	23.5	24	48	18	53.5	30
	4~8位	132	145.5	118.5	124.5	140.5	98.5	152.5	112	123	98
	計	290.5	376	275	331.5	226	198.5	229.5	228	260.5	220
天皇杯順位	42位	39位	45位	43位	46位	47位	46位	44位	44位	45位	
皇后杯順位	34位	40位	45位	39位	38位	40位	42位	41位	36位	44位	
少年比	53.2	48.5	32.0	38.9	49.6	39.3	56.0	62.3	68.1	68.9	
成年比	46.8	51.5	68.0	61.1	50.4	60.7	44.0	37.7	31.9	31.1	

獲得得点



第69回国民体育大会冬季大会について

平成26年1月21日

スポーツ健康教育課

スケート競技会・アイスホッケー競技会

1 大会概要

(1) 会 期 平成26年1月28日(火)～2月2日(日) 6日間

(2) 場 所

＜スケート競技＞

フィギュア 日光霧降アイスアリーナ

スピード 霧降スケートセンター

ショートトラック 今市青少年スポーツセンタースケートリンク

＜アイスホッケー競技＞

日光霧降アイスアリーナ 細尾ドームリンク

今市青少年スポーツセンタースケートリンク

(3) 大会テーマ 「ひかりの郷(さと) 日光国体」

(4) スローガン 「リンクに競う 夢と感動 広がる未来」

(5) 開始式 1月28日(火) 日光総合会館

2 鳥取県選手団(選手団名簿参照)

○鳥取県の派遣選手団員数は17(15)名

本部役員: 8(7)名※帯同ドクター2名含む

監督: 3(2)名 選手: 4(4)名 トレーナー: 2(2)名

()内は、昨年度の数

3 結団式

(1) 日 時 平成26年1月12日(日)

(2) 場 所 コカ・コーラウエストスポーツパーク県民体育館 第1研修室

・ 激励の言葉 ※知事、副議長、スポーツ振興議員連盟幹事長

・ 選手団代表決意表明

ショートトラック 浦林 新(うらばやし あらた) 選手

スキー競技会

1 大会概要

(1) 会 期 平成26年2月21日(金)～2月24日(月) 4日間

(2) 場 所

＜ジャイアントスラローム＞蔵王温泉スキー場

＜スペシャルジャンプ・コンバインド ジャンプ＞山形市蔵王ジャンプ台

＜コンバインド クロスカントリー・クロスカントリー＞

上山・坊平高原クロスカントリー競技場

(3) 大会テーマ やまがた樹氷国体

(4) スローガン 樹氷輝き 人つどい 未来につなげ 君の元気

2 参加選手について

県予選会が、1月19日(月)、20日(日)に行われ、(公財)鳥取県体育協会での選手選考委員会で、決定

国体の成績推移（鳥取県）

回	開催県	冬 季		夏 季		冬・夏総合		秋 季		総 合	
		得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位
5 1	廣 島	29	23	87	23	116	29	236.5	39	352.5	37
5 2	大 阪	19	25	82.5	26	101.5	31	164.5	47	266.0	42
5 3	神 奈 川	13	29	41.5	32	54.5	37	172.5	45	227.0	45
5 4	熊 本	6	30	82.5	29	88.5	34	182.5	42	271.0	43
5 5	富 山	9	29	85	25	94	33	199.0	45	293.0	42
5 6	宮 城	7	30	113	21	120	29	150.0	47	270.0	44
5 7	高 知	0	33	123	27	123	34	134	47	257.0	46
5 8	静 岡	15	26	93	27	108	33	179.5	44	287.5	42
5 9	埼 玉	1	32	56	33	57	36	233.5	43	290.5	42
6 0	岡 山	3	33	107	32	110	37	266	35	376	39
回	開催県	冬季大会		本大会		総 合					
		得点	順位	得点	順位	得点	順位				
6 1	兵 庫	4	31	271.0	47	275.0	45				
6 2	秋 田	7	30	324.5	42	331.5	43				
6 3	大 分	9	29	217.0	46	226.0	46				
6 4	新 潟	0	33	198.5	47	198.5	47				
6 5	千 葉	0	32	229.5	46	229.5	46				
6 6	山 梨	3	33	225.0	44	228.0	44				
6 7	岐 阜	1	32	259.5	42	260.5	44				
6 8	東 京	0	34	220.0	44	220.0	45				

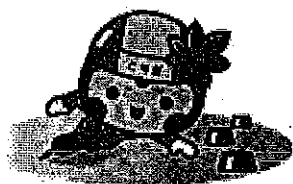
は中国地区開催 ※第61回大会より夏季大会と秋季大会が1本化

国体の成績推移（冬季のみ）

回	開催県		得点	順位	スケート	アイス ホッケー	スキー	
	本大会	スケート アイスホッケー						スキー
43	京都	群馬	岩手	4	30	0	0	4
44	北海道	北海道	北海道	0	30	0	0	0
45	福岡	岩手	青森	0	31	0	0	0
46	石川	長野	新潟	7	29	0	0	7
47	山形	山形	山形	1	37	0	0	1
48	東四国	青森	鳥取	19	27	0	0	19
49	愛知	群馬	宮城	3	30	0	0	3
50	福島	福島	福島	12.5	29	12.5	0	0
51	広島	栃木	岐阜	29	23	20	0	9
52	大阪	北海道	秋田	19	25	10	0	9
53	神奈川	岩手	岩手	13	29	10	0	3
54	熊本	長野	北海道	6	30	0	0	6
55	富山	青森	富山	9	29	0	0	9
56	宮城	山梨	長野	7	30	0	0	7
57	高知	北海道	新潟	0	33	0	0	0
58	静岡	群馬	北海道	15	26	15	0	0
59	埼玉	青森	山形	1	32	0	0	1
60	岡山	山梨/東京	岩手	3	33	0	0	3
61	兵庫	北海道	群馬	4	31	0	0	4
62	秋田	群馬	秋田	7	30	0	0	7
63	大分	長野	長野	9	29	0	0	9
64	新潟	青森	新潟	0	33	0	0	0
65	千葉	北海道	北海道	0	32	0	0	0
66	山口	青森	秋田	3	33	0	0	3
67	岐阜	愛知/岐阜	岐阜	1	32	0	0	1
68	東京	東京/福島	秋田	0	34	0	0	0

第69回国民体育大会冬季大会
スケート競技会・アイスホッケー競技会

鳥取県選手団名簿



とちまるくん



ひかりの郷 日光国体

会期：平成26年1月28日（火）～2月2日（日）

鳥 取 県

鳥 取 県 教 育 委 員 会

公益財団法人鳥取県体育協会

監督・トレーナー・選手

【スケート競技（フィギュア）】

監督1名・トレーナー1名・選手2名・計4名

種別	派遣区分	ふりがな氏名	年齢学年	勤務先・学校名
成年女子	監督	すさき よしのり 須寄 功典	34	鳥取県スケート連盟
	トレーナー	なかた のぞみ 中田 望	23	有限会社 アライブ薬局
	選手	はま なおこ 濱 尚子	22	鳥取県スケート連盟
		やすだ ゆり 安田 有里	2年生 20	同志社大学

【スケート競技（スピード・ショートトラック）】

監督2名・トレーナー1名・選手2名・計5名

種目	派遣区分	ふりがな氏名	年齢学年	勤務先・学校名
スピード	監督	やまだ たつまさ 山田 辰正	41	agent475.COM
ショートトラック		いのもと ちから 岩本 力	46	鳥取県スケート連盟
スピード・ショート	トレーナー	かわむら なおき 河村 直樹	34	鳥取大学（職）
スピード	選手	つかだ ゆう 塚田 悠	4年生 21	都留文科大学
ショートトラック		うらばやし あらた 浦林 新	2年生 19	大阪経済大学

※年齢は平成26年1月1日時点での年齢

**第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会
鳥取県選手団**

1 本部役員（8名）

団 長	岩本 章嗣	鳥取県スケート連盟会長
副 団 長	川口 一彦	公益財団法人鳥取県体育協会専務理事
総 監 督	前田 達雄	公益財団法人鳥取県体育協会事務局次長
総 務	林田 房雄	鳥取県スケート連盟理事長
総 務	澤 まこと	公益財団法人鳥取県体育協会
総 務	伊藤 勇吾	公益財団法人鳥取県体育協会
帯同ドクター	早田 俊司	鳥取市立病院
帯同ドクター	岸 隆広	鳥取赤十字病院

2 派遣選手団数

本 部 役 員	監督・トレーナー・選手	合 計
8名（7名）	9名（8名）	17名（15名）

（ ）内は68回大会の人数を示す。

3 監督・選手派遣者数内訳

競 技 名	監督	トレーナー	選 手				選手計	合計
			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子		
スケート (フィギュア)	1 [1]	1 [1]	0 [0]	2 [3]	0 [0]	0 [0]	2 [3]	4 [6]
スケート (ショートトラック)	1 [1]	1 [1]	1 [1]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	1 [1]	3 [3]
スケート (スピード)	1 [0]	※1 [0]	1 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	1 [0]	2 [0]
アイスホッケー	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]
合 計	3 [2]	2 [2]	2 [1]	2 [3]	0 [0]	0 [0]	4 [4]	9 [8]

※[]内の数は第68回大会の人数を示す。

※ショートトラックのトレーナーはスピードのトレーナーを兼ねる。

スケート
アイス
競技会日程と会場一覧

正式競技：スケート、アイスホッケー

会場地：栃木県日光市

式典・競技	日 程						会 場	所在地	
	平成 26 年 1 月				2 月				
	28 (火)	29 (水)	30 (木)	31 (金)	1 (土)	2 (日)			
開 始 式	午前 ◎						日光総合会館	日光市安川町2-47	
表 彰 式 (スケート)					午後 ◎		日光総合会館	日光市安川町2-47	
表 彰 式 (アイスホッケー)						午後 ◎	日光総合会館	日光市安川町2-47	
ス ケ ー ト	スピード		○	○	○	○	霧降スケートセンター	日光市所野 2854 番地先	
	ショート トラック	○	午前 ○				今市青少年スポーツセンター スケートリンク	日光市根室 609-1	
	フィギュア	○	○	○	午前 ○		日光霧降アイスアリーナ	日光市所野 2854 番地先	
ア イ ス ホ ッ ケー					午後 ○	○	○	日光霧降アイスアリーナ	日光市所野 2854 番地先
		○	○	○	○	○	○	細尾トームリンク	日光市細尾町 676-12
		午後 ○	○	○	○	○		今市青少年スポーツセンター スケートリンク	日光市根室 609-1

(凡例)

◎：開始式・表彰式

○：競技日

全国会議

	全国代表者会議	全国報道員会議
日 時	平成 26 年 1 月 27 日 14:00～	平成 26 年 1 月 27 日 16:00～
会 場	日光千姫物語	日光千姫物語
住 所	日光市安川町 6-48	日光市安川町 6-48
電話番号	0288-54-1010	0288-54-1010

スキー競技会日程と会場一覧

1 スキー競技

会場 地	式典・競技	日 程				会 場	所 在 地
		平成 26 年 2 月					
		21 日 (金)	22 日 (土)	23 日 (日)	24 日 (月)		
山 形 市	開 始 式	◎				山形市蔵王体育館	山形市蔵王温泉上の台 103 TEL 023-694-9876
	表 彰 式				◎		
	ジャイアントスラローム		○	○	○	蔵王温泉スキー場 ハーネンカムコース	山形市蔵王温泉坂の上関神818
	スペシャルジャンプ	◇	○			山 形 市 蔵王ジャンプ台	山形市蔵王温泉字柳平 768 TEL 023-694-2502
	コンバインド	シ・ャンプ		◇	○		
上 山 市	コンバインド	クロスカントリー			○	上山・坊平高原 クロスカントリー競技場	上山市蔵王坊平国有林 241 林班 TEL 023-677-0283
	クロスカントリー		○	○	○		

(凡例) ◎開始式・表彰式 ○競技日 ◇公式練習日

2 全国会議

会 議 名	日 時	会 場	所 在 地
全国代表者会議	平成 26 年 2 月 20 日(木)13:00~	ホテル ルーセントタカミヤ	山形市蔵王温泉 942 TEL 023-694-9135
全国報道員会議	平成 26 年 2 月 20 日(木)16:00~		

3 監督会議

会 議 名	日 時	会 場	所 在 地
ジャイアントスラローム	平成 26 年 2 月 20 日(木)14:30~	蔵王ベースセンター ジュピア	山形市蔵王温泉上の台 18 TEL 023-694-9417
スペシャルジャンプ コンバインド	平成 26 年 2 月 20 日(木)14:30~	蔵王ジャンプ台 運営本部棟	山形市蔵王温泉字柳平 768 TEL 023-694-2502
クロスカントリー	平成 26 年 2 月 20 日(木)14:30~	上山市体育 文化センター	上山市けやきの森 2-1 TEL 023-673-2288

平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

平成26年1月21日

スポーツ健康教育課

1 調査対象

小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒（悉皆調査）

※昨年度は小学校第5学年、中学校第2学年から抽出（小学校73校・中学校34校）

2 調査項目

(1) 児童生徒に対する調査

<実技に関する調査>

①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン

⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ソフトボール投げ（小学校）、ハンドボール投げ（中学校）

<質問紙調査>

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する調査

(2) 学校に対する質問紙調査

子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

3 調査結果の概要

<別紙1 関連>

(全国との比較)

- ・テストの合計点は、小中学校とも全国平均を上回っている。
- ・小中学校とも総合評価A、Bの出現率が全国より高く、D、Eの出現率が少ない。
(*総合評価は、合計点を基に、年齢に応じた基準に対してA～Eの五段階で示される。)
- ・小学生8種目×2(男女)、中学生9種目×2(男女)の計34種目のうち、23種目が全国平均よりも上回っている。
- ・反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅跳びは全ての学年・性別で全国平均を上回っている。
- ・50m走は小学5年男子のみ全国平均を下回っているが、差はわずか0.01秒である。
- ・長座体前屈においては、全ての学年・性別で全国平均より下回っている。

(前年度との比較)

- ・テストの合計点は、小中学校とも前年度の県平均を下回っている。
- ・全34種目のうち、9項目が前年度の県平均より上回っている。
- ・反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ボール投げは小中学校とも前年度の県平均を下回っている。
- ・握力は小学5年男女、中学2年女子で前年度の県平均を上回っている。
- ・小中学校とも総合評価Aの出現率が減り、D、Eの出現率が増加する傾向にある。特に小学5年女子は総合判定A、BとD、Eの出現率がそれぞれ増加し、2極化傾向が進んでいる。

<別紙2 関連>

- ・小中学校とも、平日は全国と比べて放課後の運動実施率、運動時間ともに高い傾向があるが、その他の時間の運動時間は少ない傾向にある。
- ・小中学校とも、全国と比べて土日の運動時間が短い傾向にある。
- ・「今後の運動の動機付け」という質問に対する回答では、小中学校とも「好きな・できそう

な種目があれば」が1番多く、次いで「友だちと一緒にできたら」という回答が多い。また、「自分のペースで運動ができれば」「自由に使える場所があれば」という回答が小中学校とも多い。そのほか、小学5年男子は「有名選手に教えられたら」小学5年女子は「友だちから誘われたら」中学男女は「自由な時間があれば」が多くなっている。

- ・「体型の変化に効果があるなら」という回答の割合は、中学校で全国平均を上回る傾向にあり、「授業で丁寧に教えてもらえたら」という回答の割合は小学校で上回る傾向にある。

<別紙3 関連>

- ・小学校では、全国と比べて学校全体で継続的に体力向上の取組を行っている学校が多いものの、目標の設定が明確でない傾向がある。
- ・小学校では「授業以外の運動時間設定」や「授業における指導の工夫・改善」を中心に体力の向上が図られている。特に「授業以外の運動実施時間設定」として休み時間などに運動時間を設定することや「地域スポーツクラブとの連携」「情報機器を体育の授業に活用」は全国と比べてよく行われている。
- ・中学校では、授業における指導の工夫・改善や情報機器を活用することはよく行われているものの、全国と比べて学校全体で継続的に体力向上の取組を行っている学校が少なく、休み時間などに運動時間を設定することや地域との連携により運動機会を作り出すこと、学校全体で体力・運動能力向上の目標を設定することは全国と比べてもあまり行われておらず、授業以外の場面での体力向上の取組がなかなか進みにくい現状がある。

<実技に関する集計結果-全国との比較>

別紙1

区分	男子						女子					
	小学校5年			中学校2年			小学校5年			中学校2年		
	全国	鳥取県	差	全国	鳥取県	差	全国	鳥取県	差	全国	鳥取県	差
1 握力(kg)	平均値	16.63	16.75	29.21	29.06	▼	16.14	16.11	23.76	23.78	○	
	標準偏差	3.74	3.54	7.12	6.90	○	3.75	3.59	4.55	4.54	○	
	T得点(全国比)	50.0	50.3	50.0	49.8	○	50.0	49.9	50.0	50.0	○	
2 上体起こし(回)	平均値	19.54	19.61	27.58	27.01	○	18.06	18.43	23.03	22.91	○	
	標準偏差	5.85	5.37	6.05	6.08	○	5.24	4.64	5.71	5.63	○	
	T得点(全国比)	50.0	50.1	50.0	49.1	○	50.0	50.7	50.0	49.8	○	
3 長座体前屈(cm)	平均値	32.73	31.42	43.11	40.99	▼	36.87	35.74	45.12	44.08	○	
	標準偏差	7.99	6.81	10.22	10.16	○	8.14	6.97	9.65	9.18	○	
	T得点(全国比)	50.0	48.4	50.0	47.9	○	50.0	48.6	50.0	48.9	○	
4 反復横跳び(点)	平均値	41.41	42.68	51.08	51.99	○	39.06	41.08	45.27	46.25	○	
	標準偏差	7.87	6.84	7.82	7.51	○	7.16	6.31	6.61	6.00	○	
	T得点(全国比)	50.0	51.6	50.0	51.2	○	50.0	52.8	50.0	51.5	○	
5 持久走(秒) (男1500m, 女1000m)	平均値	50.0	51.6	393.90	383.26	○	292.71	281.96	45.50	38.06	○	
	標準偏差	50.0	51.6	63.14	62.01	○	45.50	38.06	50.0	52.4	○	
	T得点(全国比)	50.0	51.6	50.0	51.7	○	50.0	51.7	50.0	52.4	○	
6 20mシャトルラン(回)	平均値	51.41	59.69	84.98	89.80	○	39.66	48.90	57.20	61.97	○	
	標準偏差	20.87	20.77	24.03	23.99	○	16.26	17.10	20.33	19.05	○	
	T得点(全国比)	50.0	54.0	50.0	52.0	○	50.0	55.7	50.0	52.3	○	
7 50m走(秒)	平均値	9.38	9.39	8.04	7.97	○	9.64	9.63	8.88	8.82	○	
	標準偏差	0.93	0.87	0.83	0.81	○	0.81	0.77	0.80	0.81	○	
	T得点(全国比)	50.0	49.9	50.0	50.8	○	50.0	50.1	50.0	50.8	○	
8 立ち幅飛び(cm)	平均値	152.07	152.89	193.68	197.54	○	144.55	146.03	166.18	167.20	○	
	標準偏差	20.86	19.67	27.03	25.10	○	20.09	19.03	24.31	23.53	○	
	T得点(全国比)	50.0	50.4	50.0	51.4	○	50.0	50.7	50.0	50.4	○	
9 ボール投げ(m)	平均値	23.19	23.91	21.01	20.51	○	13.94	13.99	12.97	12.71	○	
	標準偏差	8.11	8.02	5.50	5.23	○	4.79	4.82	4.06	4.05	○	
	T得点(全国比)	50.0	50.9	50.0	49.1	○	50.0	50.1	50.0	49.4	○	
体力合計点(点)	平均値	53.87	54.77	41.78	42.11	○	54.70	56.20	48.42	49.18	○	
	標準偏差	8.90	8.29	9.92	9.84	○	8.51	7.92	10.90	10.43	○	
	T得点(全国比)	50.0	51.0	50.0	50.3	○	50.0	51.8	50.0	50.7	○	
総合評価(%)	A	11.2	11.5	7.0	6.7	▼	12.9	15.3	25.0	26.4	▼	
	B	24.9	27.1	25.4	27.0	○	25.4	30.4	32.3	33.7	○	
	C	34.2	36.4	38.5	38.6	○	35.1	34.5	28.1	28.5	○	
	D	20.9	18.8	22.5	21.6	○	20.3	15.7	12.2	9.5	○	
	E	8.7	6.2	6.6	6.2	○	6.3	4.1	2.3	1.8	○	

○…全国値を上回る。 ▼…全国値を下回る。

◇体力合計点においては、小学校5年、中学校2年の男女ともに全国平均よりも上回っている。
 ・学年および種目別の全34種目のうち、23項目が全国平均よりも上回っており、11項目で下回っている。
 ・反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳びに関しては、小学校5年および中学校2年の男女ともに全国平均を上回っている。
 ・長座体前屈においては、小学校5年および中学校2年の男女すべてで全国平均よりも下回っており、柔軟性が課題であると考えられる。
 ◇総合評価(A～E)においては、小学校5年の男女、中学校2年の女子のA、B段階の割合が全国平均よりも高い。また、D、E段階においては小学校5年および中学校2年の男女ともに全国平均を下回っている。

＜実技に関する集計結果・前年度との比較＞

別紙1

区分	男子						女子					
	小学校5年			中学校2年			小学校5年			中学校2年		
	H24	H25	差	H24	H25	差	H24	H25	差	H24	H25	差
1 握力(kg)	平均値	16.67	16.75	29.63	29.06	▼	16.08	16.11	23.77	23.78	○	
	標準偏差	3.54	3.54	6.94	6.90	○	3.61	3.59	4.47	4.54	○	
	T得点(全国比)	49.9	50.3	50.0	49.8	○	49.6	49.9	49.5	50.0	○	
2 上体起こし(回)	平均値	19.56	19.61	27.84	27.01	▼	18.20	18.43	23.42	22.91	▼	
	標準偏差	5.27	5.37	5.92	6.08	○	4.66	4.64	5.62	5.63	○	
	T得点(全国比)	50.2	50.1	50.4	49.1	○	50.5	50.7	51.0	49.8	▼	
3 長座体前屈(cm)	平均値	31.42	31.42	42.23	40.99	▼	35.17	35.74	44.43	44.08	▼	
	標準偏差	6.95	6.81	8.94	10.16	○	6.93	6.97	9.17	9.18	○	
	T得点(全国比)	48.5	48.4	49.0	47.9	○	48.1	48.6	48.4	48.9	○	
4 反復横跳び(点)	平均値	42.97	42.68	52.61	51.99	▼	41.38	41.06	46.59	46.25	▼	
	標準偏差	6.74	6.84	7.92	7.51	○	5.69	6.31	6.15	6.00	○	
	T得点(全国比)	51.8	51.6	51.4	51.2	○	53.1	52.8	51.8	51.5	○	
5 持久走(秒) (男1500m, 女1000m)	平均値	393.50	383.26	61.27	62.01	○	281.53	281.96	38.08	38.06	○	
	標準偏差	49.6	51.7	49.6	51.7	○	52.4	52.4	52.4	52.4	○	
	T得点(全国比)	58.35	59.69	90.74	89.80	○	48.40	48.90	62.69	61.97	○	
6 20mシャトルラン(回)	平均値	20.84	20.77	22.64	23.69	▼	16.81	17.10	19.82	19.05	▼	
	標準偏差	53.2	54.0	51.9	52.0	○	55.2	55.7	52.4	52.3	○	
	T得点(全国比)	9.37	9.39	7.86	7.97	○	9.62	9.63	8.76	8.82	○	
7 50m走(秒)	平均値	0.91	0.87	0.81	0.81	○	0.76	0.77	0.82	0.81	○	
	標準偏差	50.0	49.9	51.9	50.8	○	50.3	50.1	51.4	50.8	○	
	T得点(全国比)	155.14	152.89	198.11	197.54	○	147.32	146.03	168.41	167.20	○	
8 立ち幅飛び(cm)	平均値	19.07	19.67	26.06	25.10	▼	18.21	19.03	24.45	23.53	▼	
	標準偏差	51.4	50.4	51.1	51.4	○	51.3	50.7	50.5	50.4	○	
	T得点(全国比)	24.54	23.91	21.04	20.51	○	14.31	13.99	12.98	12.71	○	
9 ポール投げ(m)	平均値	7.94	8.02	5.20	5.23	○	4.79	4.82	4.12	4.05	○	
	標準偏差	50.9	50.9	49.6	49.1	○	50.1	50.1	49.7	49.4	○	
	T得点(全国比)	55.08	54.77	43.66	42.11	○	56.33	56.20	50.16	49.18	○	
体力合計点(点)	平均値	8.40	8.29	9.85	9.84	○	7.65	7.92	10.60	10.43	○	
	標準偏差	51.1	51.0	51.4	50.3	○	51.7	51.8	51.3	50.7	○	
	T得点(全国比)	12.4	11.5	9.5	6.7	○	14.8	15.3	31.5	26.4	○	
総合評価(%)	A	28.1	27.1	29.9	27.0	○	29.7	30.4	32.2	33.7	○	
	B	36	36.4	37.3	38.6	○	37.3	34.5	25.6	28.5	○	
	C	17.3	18.8	19	21.6	○	15.1	15.7	9.1	9.5	○	
	D	6.2	6.2	4.3	6.2	○	3.3	4.1	1.7	1.8	○	
	E					○					○	

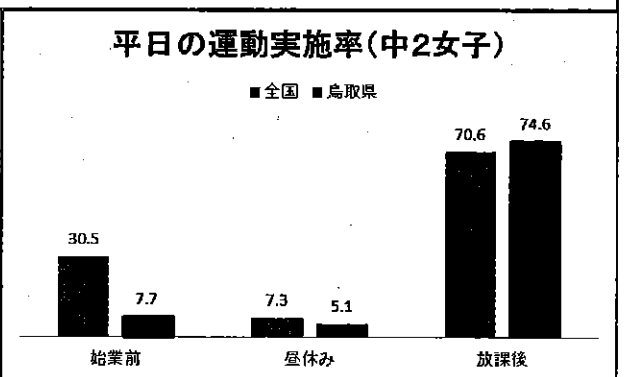
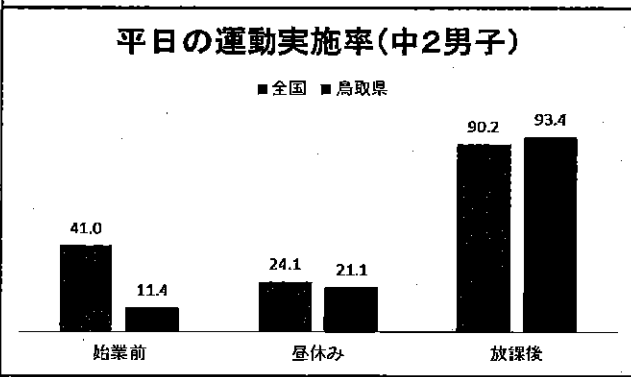
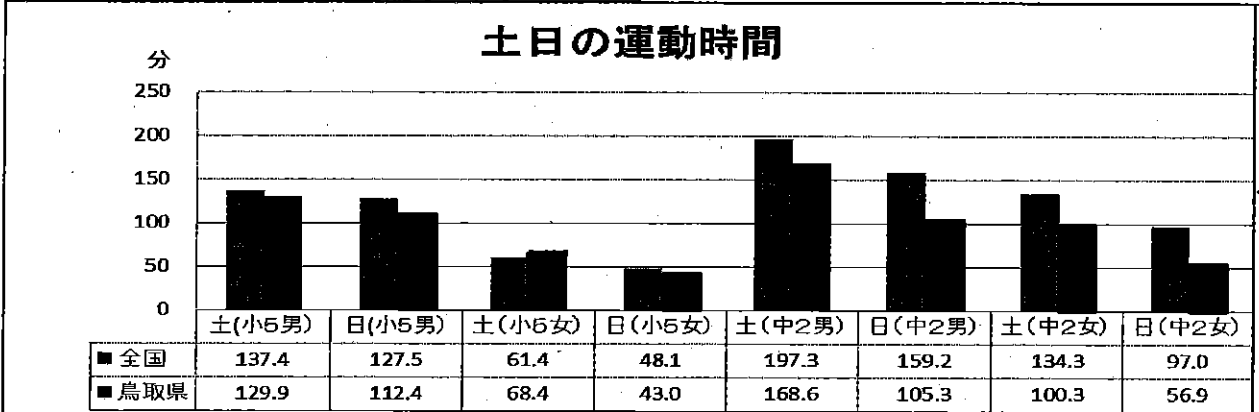
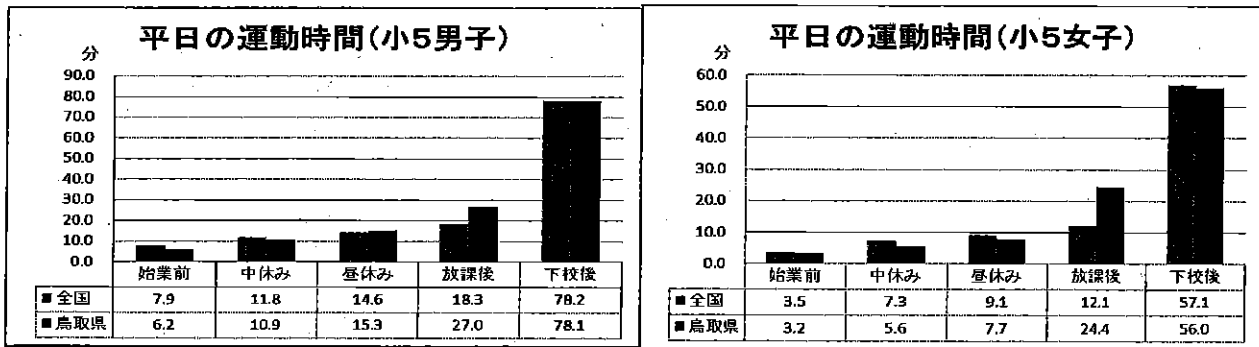
○…前年度を上回る。

▼…前年度を下回る。

- ◇体力合計点においては、小学校5年、中学校2年の男女ともに前年度を下回っている。
- ・学年および種目別の全34種目のうち、9項目が前年度よりも上回っており、24項目で下回っている。1項目が同じである。
- ・反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ポール投げに関しては、小学校5年および中学校2年の男女とも前年度を下回っている。
- ・握力においては、小学校5年の男女および中学校2年の女子で前年度よりも上回っている。
- ◇総合評価(A～E)においては、Aの出現率が減り、D、Eの出現率が増加する傾向にある。

(1) 平日・土日の運動時間・運動実施率

別紙2



(2) Q12. 今後の運動の動機付け(複数回答可)

	1好きな・できそうな種目があれば	2自分のペースで運動ができれば	3授業で丁寧に教えてもらえたら	4一人でもできるものがあるならば	5友達と一緒にできれば	6家族と一緒にできれば	7自由に使える場所があれば	8学校で自由な時間があれば	9自分の体力や体で不安があれば	10友達から誘われたら	11先生や家族から勧められたら	12有名選手に教えてもらえたら	13体型の変化に効果があるなら
小学校5年男子	65.0%	42.4%	17.0%	29.2%	55.2%	23.3%	46.2%	37.0%	17.5%	34.0%	17.7%	47.9%	22.0%
鳥取県	66.0%	45.3%	20.4%	30.0%	55.1%	23.7%	45.2%	38.2%	18.3%	34.2%	17.6%	52.8%	20.2%
小学校5年女子	73.4%	50.5%	19.3%	27.0%	64.3%	27.2%	41.9%	30.7%	15.3%	39.0%	20.3%	35.3%	24.7%
鳥取県	74.5%	53.9%	21.0%	25.4%	63.1%	26.2%	38.9%	27.7%	15.9%	38.0%	21.7%	39.4%	21.5%
中学校2年男子	71.5%	33.3%	9.8%	18.7%	48.3%	7.9%	42.2%	42.1%	10.8%	25.2%	6.8%	29.7%	14.3%
鳥取県	68.1%	34.4%	9.0%	19.3%	48.6%	6.6%	42.8%	39.6%	10.8%	26.1%	7.4%	30.2%	15.9%
中学校2年女子	80.2%	43.4%	9.7%	16.5%	57.8%	10.4%	32.8%	40.5%	13.3%	28.1%	7.5%	24.6%	28.5%
鳥取県	78.2%	43.5%	8.6%	17.5%	58.6%	9.5%	31.9%	35.6%	12.6%	29.4%	8.7%	24.2%	30.1%

(1) 学校全体での体力向上の取組

小学校	Q3 学校全体で体力・運動能力を向上させる取組										
	取組の有無(%)		具体的取組(%) ※複数回答可								
	1.している	2.していない	1.体育専科教員配置	2.外部指導者を活用	3.授業以外の運動実施時間を設定	4.授業における指導の工夫改善	5.地域スポーツクラブとの連携	6.運動・スポーツ施設整備、拡充	7.体力向上に係る予算整備、増大	8.情報機器を体育の授業に活用	9.その他
全国	93.4%	6.6%	2.4%	18.3%	77.5%	69.5%	9.4%	12.1%	4.1%	11.2%	5.5%
鳥取県	97.0%	3.0%	4.6%	14.5%	85.5%	70.2%	19.1%	12.2%	4.6%	25.2%	1.5%

中学校	Q5 学校全体で体力・運動能力を昭和60年水準に向上させる取組										
	取組の有無(%)		具体的取組(%) ※複数回答可								
	1.している	2.していない	1.体育の人員や組織を整備、増強	2.授業以外の運動実施時間を確保、拡大	3.授業における指導の工夫改善	4.運動部活動の充実	5.地域スポーツクラブとの連携	6.運動・スポーツ施設整備、拡充	7.体力向上に係る予算整備、増大	8.情報機器を体育の授業に活用	9.その他
全国	47.4%	52.6%	7.8%	23.8%	79.7%	79.8%	8.4%	8.1%	2.2%	15.0%	2.1%
鳥取県	33.9%	66.1%	0.0%	20.0%	95.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%

(2) 体育学習以外の手立て

小学校	Q6 体力向上や運動習慣確立のため体育の授業以外の時間に手立て							
	手立ての有無(%)		具体的手立て(%) ※複数回答可					
	1.している	2.していない	1.休み時間などに運動時間を設定	2.特定日に選手招聘など取組	3.クラブ活動や学校行事で積極的に	4.児童や保護者へ働きかけ	5.地域連携で運動やスポーツ機会	6.1～5以外で独自の取組
全国	89.1%	10.9%	78.9%	11.7%	53.2%	18.2%	17.4%	7.5%
鳥取県	93.3%	6.7%	82.5%	7.9%	57.1%	13.5%	15.9%	7.9%

中学校	Q7 運動習慣確立のため保健体育の授業以外の時間に手立て						
	手立ての有無(%)		具体的手立て(%) ※複数回答可				
	1.している	2.していない	1.休み時間などに運動時間を設定	2.運動部活動への参加を促す	3.生徒や保護者へ働きかけ	4.地域連携で運動やスポーツ機会	5.1～4以外で独自の取組
全国	61.5%	38.5%	22.6%	82.7%	12.8%	13.2%	11.8%
鳥取県	56.5%	43.5%	8.6%	88.6%	11.4%	2.9%	11.4%

(3) 体力向上の目標設定・運動習慣の状況把握

小学校	Q4 学校全体で体力・運動能力向上の目標設定(%)		Q5 児童の運動習慣の状況把握(%)	
	1.している	2.していない	1.している	2.していない
全国	31.2%	68.8%	62.7%	37.3%
鳥取県	23.7%	76.3%	89.6%	10.4%

中学校	Q4 学校全体で体力・運動能力向上の目標設定(%)		Q6 生徒の運動習慣の状況把握(%)	
	1.している	2.していない	1.している	2.していない
全国	21.0%	79.0%	74.2%	25.8%
鳥取県	9.5%	90.5%	68.3%	31.7%

子どものスポーツ活動ガイドライン（案）のパブリックコメントに係る意見募集結果について

平成26年1月21日
スポーツ健康教育課

- 1 実施期間 平成25年11月21日（木）から平成25年12月20日（金）
- 2 公募方法 ファクシミリ とりネット 新聞広告 県民課等関係機関からの応募
- 3 応募件数 14件
反映 5 既に盛り込み済み 2 対応困難 3 その他 4

4 主な意見と対応方針

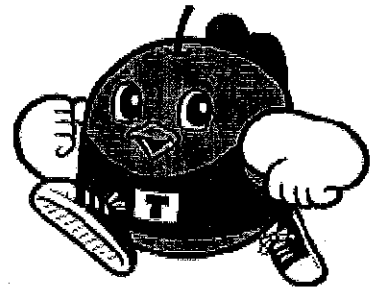
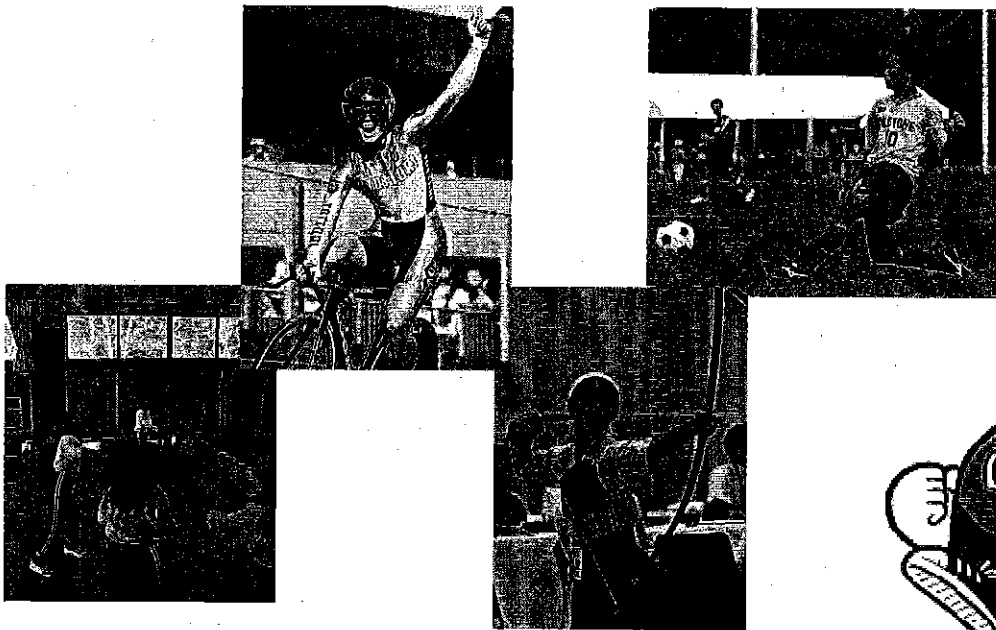
意見の概要	対応方針
「スポーツ指導者10の心得」と「スポーツ指導者のセルフチェック」は連動させるべきではないか。	セルフチェックシートの内容に「スポーツ指導者10の心得」の内容を反映します。
「スポーツ指導者のセルフチェック」の実施回数等の時期等の目安（「月に1回は実施」するなど）を明記しないと適切な振り返りが期待できないのではないか。	「スポーツ指導者セルフチェック」の目安として「月1回など」を記載します。
【子どものスポーツ活動に係る練習日や休養日、練習時間の目安】で中学生のスポーツ活動「少なくとも週2日程度の休養日を設ける」は、明記されるのであれば「2日」ではなく、「1～2日」と幅を持たせた方が良く考えます。	「少なくとも週2日程度」の「少なくとも」を削除し、「週2回程度」とします。
部活動指導に対してわずかな特殊勤務手当てなどの支給しかなく、教職員の善意に頼っている。	本ガイドラインは、広く子どものスポーツ活動の指導に関わる方を対象としているため、教員のサービスに関する問題については県教育委員会として別途検討します。
保護者を含めスポーツ活動ガイドラインを知らない人がいないように研修の充実が必要	来年度の指導者研修会では、保護者を含め、指導者の資質向上のため、ガイドラインの周知とともに研修内容の充実を図ることとしています。

5 今後のスケジュール

- 2月 4日 定例教育委員会
- 2月18日 鳥取県スポーツ審議会
- 4月 以降 市町村担当者連絡会、校長会等で説明
研修会等での周知

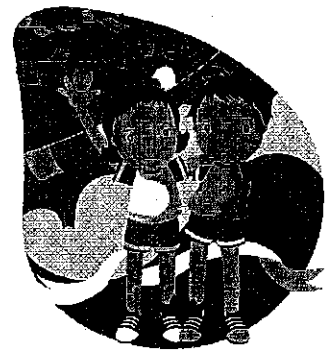
子どものスポーツ活動ガイドライン

スポーツに取り組む子どもたちと共に



スポーツ指導者 10の心得 ～スポーツ活動にかかわるすべての人たちへ～

- 1 常にスポーツを通じた人格形成に心がけよう
- 2 子どもたち自らが夢や目標をもてるようにしよう
- 3 楽しむことと真剣にやることの両方が重要であることを説明しよう
- 4 活動方針等を子どもたちと共有し、子どもを中心とした計画的な運営をしよう
- 5 自ら良いお手本であれ ～フェアプレイ宣言をしていますか～
- 6 常に子どもたちとコミュニケーションをとろう
- 7 指導力の向上に努めよう
- 8 スポーツ界から体罰等不適切な指導を追放しよう
- 9 フェアプレイについて子どもたちに話そう
- 10 子どもたちの心身の健康管理に留意しよう



子どものスポーツ活動ガイドラインについて

子どもたちは、様々な場面でスポーツを楽しんでいます。スポーツを楽しむことは、心身の健全な発達を促し、特に自己責任、克己心やフェアプレイの精神を培うとともに、仲間や指導者との交流を通じて、子どもたちのコミュニケーション能力を育成し、豊かな心と他人に対する思いやりの心を育むなど、子どもたちの人格の形成に大きな影響を及ぼしています。

本ガイドラインは、市町村、学校、競技団体、スポーツ少年団、スポーツクラブなどにおいて、子どもたちのスポーツ活動に携わるすべての指導者、保護者等の関係者が、本ガイドラインの内容を踏まえ、スポーツ活動での具体的な指導の在り方、その方法について現在の活動を見直していただくためのものです。

一人ひとりの指導者が「スポーツ指導者10の心得」を実行するとともに、定期的に自らの指導、運営についてセルフチェックを行っていただくことを期待しています。そして、必要な見直し、創意工夫、改善及び研究を進め、より適切で効果的な指導を行うことにより、子どもたちのスポーツ活動が一層充実し、子どもたちが人間性豊かな社会人として成長することを期待します。

【スポーツの意義】

1 スポーツの意義・役割

私たちはスポーツに親しむことによって、心と体の両面にわたり健康の保持増進に大きな効果を発揮しています。

また、スポーツは人間の可能性を極限まで追求することや、多くの人に夢や感動を与えることができます。スポーツは、活力ある健全な社会の形成に大きく貢献するものです。

2 子どもにとってのスポーツの意義及び運動部活動の効果・役割

子どもたちにとってのスポーツ活動は、体力を向上させるとともに、豊かな人間性を営む基礎となり、青少年の健全育成にはなくてはならないものです。

中学校、高等学校の部活動については、学校教育が目指す「生きる力」の育成や豊かな学校生活を実現させるために大きな役割を果たしています。

3 地域や各競技団体との連携・協働

スポーツ活動に取り組む子どもたちは、様々なニーズをもっています。県、市町村、学校及び各スポーツ団体は、子どもたちのニーズを把握してスポーツ活動の効果が高めるために、活動内容や形態、季節ごとの練習内容など工夫することが大切です。

また、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等とも連携を通して、スポーツイベントには、子どもたちの参加を促す内容を盛り込んだり、地域の特色を生かした活動を工夫したりするなど、連携・協働した取組が望まれます。

◇ スポーツがもたらす意義や効果 ◇
 ・スポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフに親しむ資質や能力を育てることができる
 ・体力の向上や健康の増進を図ることができる
 ・自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成することができる
 ・自己の力の確認、努力による達成感、充実感をもたらすことができる



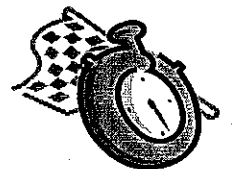
【子どもたちのスポーツ活動の運営の在り方に関すること】

活動を行う組織全体で活動の目標や指導の方針を共有し、子どもを中心とした計画的な運営を進めましょう。

1 組織全体として運営の在り方を考え、指導の目標、方針を共有しましょう

活動の運営や指導の目標、方針、を指導に関わるスタッフ等で検討しましょう。

活動の目標や方針、計画等については積極的に保護者や子どもたちに説明しましょう。



2 適切な指導体制を整えましょう

指導に関わる者それぞれが協力して、子どもたちのスポーツ活動を支えていく体制を整えることが大切です。

指導者は、指導する者同士で共通理解を図るとともに、相互に子どもたちに関する情報を共有しましょう。

3 子どもたちの実態を踏まえ、目標や内容を明確にした活動計画をつくりましょう

指導者は、対象となる子どもたちの状況やニーズを考慮して、適切な目標や方針を検討、設定することが必要です。

練習方法や活動時間等を明記した計画を作成し、見通しを持った活動となるようにしましょう。

スポーツ活動が学習を両立できるよう効率的な練習方法等を工夫しましょう。

< 子どものスポーツ活動に係る練習日や休養日、練習時間の目安 >

	小学生のスポーツ活動	中学生のスポーツ活動	高校生のスポーツ活動等
	多くても週の練習は3日程度とする	週2日程度の休養日を設ける	少なくとも週1日程度の休養日を設ける
活動時間	平日 2時間を超えない程度 休日 3時間を超えない程度	平日 長くても2～3時間程度 休日 長くても3～4時間程度	
留意事項	・原則として土曜日か日曜日のいずれかは休養日とする。 ・学年間の発育の差に留意する。	・原則として休養日の1日は土曜日か日曜日のいずれかに当てることが望ましい。 ・土日に活動する必要がある場合は他の曜日で休養日を確保する。	

【子どものスポーツ活動の指導に関すること】

指導者には、子どもたちのスポーツ活動への意欲を高める指導力が必要です。自らが適切な指導方法やコミュニケーションの能力などの指導力の向上に努めましょう。

1 効果的な指導に向けて、適切な指導方法やコミュニケーションの充実等により、子どもたちの自主的・自発的活動を促し、スポーツ活動への意欲を高めましょう

子どもたちに練習方法の科学的根拠や目的を説明し、練習内容を理解させ主体的に練習に取り組むことができるように努めることが大切です。子どもたちが自ら目標を設定することが、自立して取り組む力につながります。

子どもたちが意欲を持って取り組むことができる雰囲気づくりや心理面での指導を工夫しましょう。

また、子どもたちが自らの課題を理解できるような言葉かけや意欲のわく言葉かけを心がけることが大切です。

2 身体を動かすことが大好きな幼児、運動やスポーツが大好きな児童を育てましょう

幼児期における運動の指導においては、様々な運動遊びを工夫することが必要です。

自ら考えてプレーすることの大切さを学ばせるとともに、できるだけ様々な種目を幅広く体験させるよう心がけましょう。



3 運動部活動の内容や注意事項について生徒に対して説明し、理解を図りましょう

顧問は生徒の活動に立ち会い、直接指導することが原則です。対応できない場合は、活動内容や注意事項を的確に指示したり励ましの声をかけたり、あらかじめ約束された安全面に十分に留意した内容や方法で活動させることが大切です。日頃から生徒たちの活動内容を把握できる工夫をしましょう。

4 望ましいスポーツ指導者を目指し、年1回は研修会に参加しましょう

「望ましいスポーツ指導者」とは、「子どもたちの良い手本」となる指導者です。スポーツにはフェアな行動と精神が求められます。指導者の姿が子どもたちにどのように写っているのかを常に考え、振り返り、指導者として望ましい態度での指導を考え、実践しましょう。

研修会等に積極的に参加して、多面的な指導方法等を習得することが望まれます。自分自身のこれまでの実践、経験に頼るだけでなく、新しく得た科学的根拠のある知識や技能を積極的に活用して指導しましょう。

5 体罰等に頼らない指導をしましょう

スポーツ活動では、指導と称して殴る、蹴ること等はもちろん、懲戒としての体罰が禁止されていることは言うまでもありません。体罰等による指導は、スポーツのもたらす教育的効果と相反する負の効果しかもたらさないことを認識することが必要です。体罰等許されない指導に対する正しい認識を身につけることが大切です。

【スポーツ活動における事故防止や安全の確保について】

子どもたちの健康管理や活動場所の安全確認に努め、スポーツ活動時の事故を予防しましょう。

1 運動部活動の内容や注意事項について生徒に対して説明し、理解を図りましょう

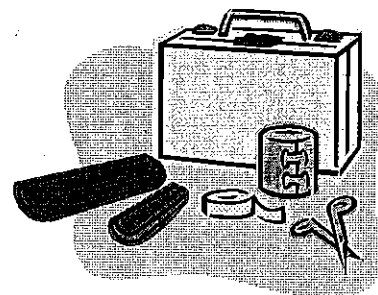
子どもたち一人ひとりの体調を把握し、練習中にも疲労の蓄積による事故や熱中症等の予防のために、健康管理の上で無理のない練習にすることが大切です。

スポーツ活動を行う上で、施設・設備・備品・用具等の使用については安全点検を行うことが必要です。また、緊急時の対応にも備えましょう。

2 スポーツによるけがや熱中症等を防止しましょう

生涯にわたってスポーツに親しむためには、スポーツ外傷やスポーツ障害の予防が大切です。科学的根拠に基づいた指導の内容や方法を活用して、スポーツ障害を予防しましょう。

また、適度な水分を補給し、休憩時間を十分確保して熱中症を予防しましょう。



《スポーツ指導者のセルフチェック》

○次のチェック項目で、あなたの考えや行動を定期的に判断してみてください。

チェック項目	判断
子どもたちを中心とした方針、目標、指導計画が作成してあります。	
1 スポーツを通じた人格形成を意識した活動方針や目標が明文化しています。	
2 指導計画には、子どもたちが目標を持って活動できる工夫があります。	
3 具体的な活動計画表を作成しています。	
チームや団体の活動目標と指導方針等を共有しています。	
4 活動目標と指導方針等を指導スタッフと共有しています。	
5 活動目標と指導方針等を子どもたちと共有しています。	
6 活動目標と指導方針等を保護者と共有しています。	
適切な指導体制で活動をしています。	
7 複数のスタッフでチームや団体の運営をしています。	
8 複数のスタッフで子どもたちの指導をしています。	
9 (学校) 他の活動の顧問等とも連携して、活動を支援しています。	
子どもたちの心身の健康状態の把握に努めています。	
10 活動前に健康チェックや観察をしています。	
11 子どもたちの日ごろの様子や情報の収集をしています。	
心身の活動量に活動しています。	
12 (小) 練習日数は多くても週3日程度です。	
13 (小) 平日2時間、休日3時間を超えない活動時間です。	
14 (中) 週2日程度の休養日を設定しています。	
15 (中) 長くても平日3時間、休日4時間程度の活動時間です。	
16 (高) 少なくとも週1日程度の休養日を設定しています。	
17 (高) 長くても平日3時間、休日4時間程度の活動時間です。	
18 (共) 指導者も休養日にはリフレッシュしています。	
子どもたちに練習や試合時の作戦について説明しています。	
19 どうしてこの練習を行うのか目的を子どもたちに説明しています。	
20 練習方法の科学的根拠を子どもたちに説明しています。	
21 試合時の作戦について子どもたちと話し合いをしています。	
勝利至上主義のスポーツ活動は行いません。	
22 試合で、勝利のみを目指した取組はしていません。	
23 できそうにない過重な負担の練習や活動をしていません。	
子どもたちの自主的・自発的活動になるよう促しています。	
24 自発的活動について説明し、活動が見られたときは褒めて認めます。	
25 子どもたちに練習方法等について意見を聞いています。	
26 厳しい指導の後には、何がわるかったのかを伝え、子どもたちが理解できるようにしています。	

チェック項目	判断
子どもたちとの信頼関係を築くことを心がけています。	
27 子どもたちに活動中や前後に積極的に声かけをしています。	
28 子どもたちとの話し合いの機会を設けています。	
運動やスポーツが好きな子どもの育成を心がけています。	
29 スポーツの楽しさや面白さが味わえるよう練習を工夫しています。	
30 子どもたち自らが考えてプレーすることを大切に指導しています。	
体罰など許されない指導の根拠を努めています。	
31 スポーツ活動の様子をオープンにして排他的な環境をつくらないようにしています。	
32 子どもたち同士の関係を把握し、コミュニケーションを図るよう工夫しています。	
体罰等許されない指導に関する研修会に参加しています。	
33 積極的に研修会等に参加して、自己研鑽に努めています。	
34 年間に、1回以上のスポーツ指導者研修会に参加しています。	
35 他競技の指導者と協議等をして、競技横断的な知識・技能の習得を心がけています。	
36 スポーツ指導者の資格の取得を目指しています。	
指導者として望ましい態度について考え、フェアプレイを実践しています。	
37 フェアプレイ宣言を実践しています。	
38 日ごろから適切な身なりやあいさつ、言葉使いなどに気を付けています。	
39 普段からスポーツマンシップという言葉を目にしています。	
スポーツ活動中の事故防止や安全の確保に努めています。	
40 練習前に、施設・用具等の安全点検をしています。	
41 活動場所のAEDのあるところを知っており、操作方法を習得しています。	
42 事故発生時の連絡通報体制が確立しています。	
スポーツによるけがや熱中症の予防を心がけています。	
43 研修会等で得たスポーツ医学の知識を指導において活用しています。	
44 けがをしている子どもには適切な休養をとらせませす。	
45 活動中にも水分等の補給の時間を設けています。	

＜お問い合わせ＞

鳥取県教育委員会事務局 スポーツ健康教育課

TEL 0857-26-7921

FAX 0857-26-7542

電子メール以 sportskenkou@pref.tottori.jp



